

立教日本語教育実践学会(R-JLEP) 学会誌 『日本語教育実践研究』 投稿要領

第1条（論文体裁） 投稿論文は下記の体裁で作成されるものとする。

- (1) 論文および実践報告（調査報告）は、英語または日本語で執筆する。
- (2) 論文分量は10ページ以上20ページ以内、実践報告（調査報告）及び研究ノートは12ページ以内とし、いずれもページ数に参考文献、図表、注、資料を含める。規程ページ数の超過・不足はともに認めない。
- (3) すべての論文および実践報告（調査報告）は、立教日本語教育学会ウェブサイトより、「テンプレート」をダウンロードし、Microsoft WORD(R)上で作成すること。テンプレートに設定された書式の改変や、分量の変更は認めない。なお、全体の体裁は最新版のAPAマニュアルに準拠すること。
- (4) 論文および実践報告（調査報告）の書式は、英語・日本語の場合とも、ページ設定は横全角38字、縦40行とする。マージンは上25mm、下20mm、左右30mmとする。本文使用フォントは、日本語はMS明朝、英語・数字はTimes New Romanとし、フォントサイズは11ポイントとする。本文に挿入される表内などでは、ポイントを落としてよいが、最小でも10ポイント以上を目安とする。また、日本語論文の句読点は「、。」とする。これらはテンプレートに設定済みである。
- (5) 日本語論文には英語のSUMMARY、英文論文には日本語の「概要」を本文の冒頭に付すこと。これらの分量はおおよそ5行以内とする。
- (6) グラフ・写真・図などは、カラーを使用せず、白黒で提出すること。
- (7) 末尾の文献表には引用文献のみを記載すること。

第2条（作成） 投稿論文および実践報告（調査報告）は、下記に基づき作成されるものとする。

- (1) 英文論文の場合は、投稿段階で、投稿者の責任においてネイティブチェックを済ませておくこと。
- (2) 論文ファイル名は、投稿者姓名とする。例：YAMDADA Hanako.doc

第3条（投稿方法） 投稿者は、締切日午後10時必着で、編集委員長宛に、投稿論文を電子メールの添付ファイルとして送付する。その際、メール本体に下記の情報を明記すること。

・氏名、論文タイトル、論文内容の別（研究論文／実践報告）、所属、住所、電話

第4条（複数投稿） 同一著者が、複数の論文および研究ノートの単著論文・筆頭著者論文として、投稿することはできない。

第5条（日程） 本紀要の刊行までの日程は原則として下記の通りとする。

10月1日 投稿受付開始

11月末日 投稿受付締切

1月中旬 査読結果通知

2月15日 修正原稿締切

3月下旬 刊行

付 則 1 この投稿要領は、2013年8月30日の幹事会において承認された。

2 この要領は2014年8月に一部改正された。